

Question

マンションでの快適な生活を送るために、効果的な害鳥・害虫対策を教えてください。

Answer

代表的な害鳥・害虫がもたらす被害と主な潜伏場所、防ぐための対策・対処法を紹介します。

ご自宅の害鳥・害虫による被害については、各戸単位で対処するのが基本です。共用部分の被害の場合はマンションの管理組合に相談して、駆除専門の業者への依頼も検討しましょう。

ハト被害への対策

ハトが寄り付きにくい環境にする

ベランダやバルコニーがハトの溜まり場になると、フンがゴキブリなど害虫のエサとなり、フンに含まれる成分によって金属が腐食するなどの被害が起こります。また、室外機の裏などに巣をつくって繁殖することもあるため、ベランダやバルコニーなどをハトが寄り付きにくい環境にすることが大切です。市販されているハト用の忌避グッズを使って、ハトの視覚を刺激しましょう。

カラス被害への対策

バルコニーに食べ物やペットのエサを放置しない

カラスはエサとなる生ゴミを求めて、ゴミ収集場所や飲食店のゴミ箱などを荒らしますので、軒下やベランダなどには、食べ物やペットのエサを放置しないようにしましょう。また、巣作りの材料として持ち去られる場合があるので、使っていない針金ハンガーは取り込みます。忌避グッズを設置するのが有効ですが、カラスは学習能力が高いため、2つ以上のグッズを1週間おきに交換し、位置を変えると良いでしょう。

※ハトもカラスも「鳥獣保護管理法」によって捕獲には都道府県知事の許可が必要で、むやみに傷つけたり巣や卵を無許可で撤去したりすることは禁止されていますので注意が必要です。

ダニ被害への対策

床や絨毯にしっかり掃除機をかける

ぜんそくや鼻炎、皮膚炎などのアレルギー性疾患の原因となるのがヒョウヒダニ、服の中に入りこんで皮膚の柔らかい部分を刺すのがツメダニ。どちらも人に危害を加える「衛生害虫」で、リビングの床や絨毯、ソファ、布団周りなどに卵を産み付け成長します。

ダニが発生したら室内の換気をしながら掃除機をかけることが大切。布団のダニを駆除するには、市販の布団掃除機をかけるか、布団を天日干した後に掃除機をかけてダニの死骸やフンを取り除きます。このとき、掃除機に市販の布団専用ノズルを使うか、ホース部分に古いストッキングを輪ゴムで取り付けて吸い取る方法がおすすめです。

※市販の殺虫剤を使用する場合は、使用前に商品説明書をよく確認のうえ正しく使用しましょう。

ゴキブリ被害への対策

不要なダンボールは早めに処分

ゴキブリは1.5mmの隙間があれば室内へ侵入可能だといわれています。温かくて湿気が多い場所を特に好むので、冷蔵庫の裏やキッチン周り、浴室・洗面周りなどに忌避剤や毒餌を設置するのが効果的です。また、換気扇には換気扇用フィルターを付けて、エアコンの排水管やホースを通す穴の隙間は設置撤去の際に業者にパテやテープでしっかりと塞いでもらいます。ダンボールもゴキブリが好む環境となるので、不要なダンボールは早めに処分しましょう。

おすすめの
問い合わせ
団体

■公益社団法人 東京都ペストコントロール協会 <http://www.pestcontrol-tokyo.jp>

ねずみ・害虫など有害生物の防除及び防疫に関する多彩な活動を行い、東京都内の衛生的かつ快適な生活環境を保持増進させて、都民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。相談ごとの主旨を説明すれば、内容に適した駆除専門業者を紹介してくれます。

●住所 〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町2-9-8 サトービル2階
●電話 03-3254-0014(代表)
●業務時間 平日9:00~17:00